

朝霞市が目指すべき方向性【検討資料】本市の強み・弱みとキーワード

本市の強み（好ましい点、今後も活かしたい点など）

- ◆ 人口の動向
 - ✓ 人口減少社会にあって、人口の自然増・社会増を維持する
 - ✓ 有配偶率、合計特殊出生率が比較的高い
 - ✓ 高い水準の社会増が続いてきた
 - ✓ 高齢化は緩やか
 - ✓ 人口構造が最も若い都市の一つ、子どもと子育て世代が多い

- ◆ まちの性格や環境
 - ✓ 都心への交通利便性が高く、通勤・通学に便利である
 - ✓ 交通の便が良い（鉄道が2路線、バスなども充実）
 - ✓ 公園や身近な緑の多さ、黒目川の水辺や武蔵野の緑が魅力

- ◆ 市民の生活や文化
 - ✓ 健康寿命が長い
 - ✓ 彩夏祭やイルミネーションなどの祭りやイベントの豊かさ

- ◆ 行財政
 - ✓ 財政力指数等多くの指標で他市を上回り、財政状況は比較的良好

資料6-1に示した調査結果

本市の弱み（好ましくない点、今後改善したい点など）

- ◆ 人口の動向
 - ✓ まもなく自然減の局面に突入する
 - ✓ 合計特殊出生率は高いといっても1.25かつ低下傾向
 - ✓ 社会増は近年鈍化傾向にある
 - ✓ 今後の高齢化も予測され対応が必要である
 - ✓ 子どもと子育て世代の移住・定住が鍵となる

- ◆ まちの性格や環境
 - ✓ 昼夜間人口比率が低く、市内で働く市民の割合も低い
 - ✓ 道幅が狭い道路の改善や地域内公共交通機関の維持が必要である
 - ✓ まちなかの商業、商店の活力向上が求められている
 - ✓ 都市の個性や魅力の磨き上げが必要でないか（朝霞と言ったらコレ、等）

- ◆ 市民の生活や文化
 - ✓ 医療提供基盤（医師数・病床数）はやや弱い
 - ✓ 地域コミュニティが希薄、自治会加入率は低く低下傾向

- ◆ 行財政
 - ✓ 経常収支比率が高く、今後も財政の健全運営のための努力が必要

朝霞市が目指すべき方向性のキーワード

人口の増加（及び可能な限りの維持）
 バランスの良い人口構成の維持
 子どもを生き育てやすい環境 教育・学習環境
 移住・定住の促進 住み続けたい魅力的な環境 個性
 健康で長生き 地域での多様なつながり まちの文化
 買い物の楽しみ まちの賑わい 居心地の良い空間
 交通利便性 移動の手段の豊富さ 歩きやすい道
 都市と豊かな自然の調和 安全・安心 快適

朝霞市の将来像等を構成する要素